



夏の中学難聴学級交流会



8月末、御園中学校の難聴学級が中心となって近隣4校の難聴学級と交流会を開催しました。参加校は、品川区立豊葉の杜学園、世田谷区立駒沢中学校、港区立御成門中学校、そして御園中学校。4校の通級生たちは御成門中学校で顔を合わせました。

交流イベントでは、はじめに初対面の通級生たちが指文字を使って名前を伝達するゲームを実施しました。手にした指文字表と睨めっこしながらやりとりする様子は微笑ましかったです。普段手話や指文字になじみが薄い通級生たちですが、使いこなせるとコミュニケーションの幅が広がります。

後半には駒沢中学校、御成門中学校を卒業した大学生や専門学校生、高校生の先輩方を招いて「先輩からお話を聞く会」を開催しました。なかには、この日のために岡山から駆けつけてくれた人も。

事前に各校の通級生たちが用意した質問に、先輩方が真剣に答えました。その一部を紹介します。



● 日頃の勉強や考査では、
どんな工夫をしましたか？

- 問題集を2周以上やると自信がつきます！「期間を空けて忘れた頃に繰り返すと効果的！」という話を聞いたことがありますよ。
- 好きになれるように歴史物のTVやゲームを使いました。「知りたい！」という気持ちが生まれてくると良いですね。

□ 進学先は自分の目標と学力を考慮した上で、通いやすい近所が良いと思います。アルバイト選びは、時給の良さ、仕事の内容、将来に活かせるか。

今はホテルの宴会スタッフをしています。

マナーなど、学べることが沢山あります！

□ テレワークで、プログラミングの講師をしています。自分のきこえ方は、共に働く相手に必ず伝えましょう！

□ 教員になりたいので、サポートが充実している大学を選びました。アルバイトは、母校の部活動指導員や聴覚障害者向けの学習塾の講師、学童の指導員などをやりました。依頼されて始めたものもあるけれど、やりがいをよく考えて選びました。

□ 進学先やアルバイト選びで重視したことは何ですか？



◆ 周囲には自分のきこえ方を
どのように伝え、どんな配慮
を求めましたか？

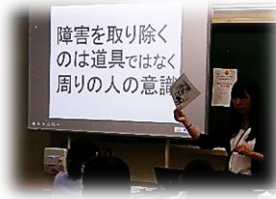
- ◆ 自分から時間をもらい、中学では学年集会で、高校ではクラスで話をしました。
- ◆ 身体障害者手帳を持っていないので、就職活動では制度面での支援を受けることの難しさを感じています。
- ◆ 高校ではロジャーや英語の別室受験、大学ではUDトークを使っています。英語の授業では、英語を英文で表示するアプリを使用しました。

中学卒業後、周りにきこえのことを伝え、支援を求めて乗り越えた話をいくつも伺うことができました。交流会には計8名の先輩方が駆けつけてくれました。この先輩方も、通級生同様に夏休み期間です。思い出を作るために友人と旅行に出たり、実家に帰って家族と過ごしたり、アルバイトの時間に充てたりと、いろいろな選択肢があったはず。それでも後輩のために自分の経験を語り、より学校生活を充実させてほしいと願い、協力をしてくれました。

なお、10月には小中交流会が入新井第一小学校で開催されます。「先輩としてできること」をよく考え、交流会に臨んでほしいと思います。小学生が良い時間だったと振り返られる会にできると良いですね。



難聴理解授業



2学期が始まり、校内に響く生徒たちの明るい声。賑やかな日々が戻ってきました。

9月上旬には1年生の全クラスで「難聴理解授業」を実施しました。目の前で披露される手話に目を丸くする生徒。覚えてたの手話や指文字で自己紹介をする姿も見られました。

体験では両耳をふさいだ状態でのしりとりや、イヤーマフや補聴器を付けた状態での話し合いなどの班活動をしてもらいました。日常的な活動における聞こえにくさによる不便さに気づき始めると、それぞれが真剣に「どうすれば良いか？」考え出しました。

補聴器や人工内耳のような聞こえにくさを補う道具は年々進歩していますが、それでも当事者の方々が日常生活で感じる不便さは少なくありません。だからこそ、一人ひとりが体験を通して学んだ思いやりや支え合いの工夫を、日々の行動の中で実践していくことを期待します。障害があっても、それを壁と感じさせないような社会を築いていきましょう。

～1年生の感想を紹介～

- ・難聴を体験して普段聞こえている音が聞こえなく、耳が疲れてしまい負担が大きいことが分かりました。補聴器をつけると聞き取りやすくなると思っていたので、反響してしまうデメリットがあることも分かりました。周りに難聴の人がいたら、今回の体験を活かしてゆっくり話したいです。
- ・全てのことに於いて、優しく接したり、話をゆっくりしたりするのが自分にもできる接し方かなと思います。意識してみれば、周りには意外と難聴の方はいると思いました。もっと周りを見ていきます。
- ・最初は、難聴の人はことばをあまり上手く聞き取れなくて困ることが多いだろうとだけ思っていました。でも、難聴を体験してみて、ことばを上手く聞き取れないと「不安」や「申し訳なさ」などの気持ちで人と関わることがあると分かりました。ですが、周りが工夫して関わりやすくしてくれることによって、救われた気持ちになれたり、嬉しかったりしたので、これから自分も意識していきたいと思いました。
- ・この学習で、自分のできる支えなどを見つけていこうと思いました。テニスボールをイスの足に付ける配慮のように、新たな工夫を見つけて少しでも皆が過ごしやすい環境にしていきたいです。
- ・難聴の人は何倍も努力しているんだなって思いました。
- ・聞こえにくくなり、口の形で想像するしかなかった。班の人が提案してくれた絵しりとりは、しゃべったり聞いたりするのに集中する必要がないから楽しかった。ジェスチャーや口の形を意識して伝えたい。その人が一緒に楽しめるような工夫をしたい。

今後の予定

10月7日(水) 集合: 14時30分

小中交流会(入新井第一小)

※校内生はお弁当持参、校外生は現地集合

10月24日(金)～12月8日(月)

英検 第3回 受験上の配慮申請期間

11月15日(土)～26日(水)

デフリンピック2025 開催(入場無料)

※大田区総合体育館にてバスケットボール!

ふるさと浜辺公園にてビーチバレー!

きこえの教室向け 難聴学級見学会を開催



9月18日(木)、北鞆谷小学校 きこえの教室から児童・保護者・教員合わせて10名が来校され、賑やかな中での見学になりました。難聴学級の授業見学や学級紹介、質疑応答に加え、通常学級(英語・数学)も見学してもらいました。授業テンポの速さや学習に登場する語句の難しさなど、様々な場面で驚きがあった様子です。小学生の皆さんからは沢山の質問が挙がりました。目的をもって見学に来てくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。来年度の見学も楽しみにしています。